

第18回 八幡平ふるさと会の集い

令和6年度、第18回八幡平ふるさと会の集いは、5月26日(日)「アートホテル日暮里ラングウッド」にて開催いたします。八幡平市から佐々木市長はじめ来賓の方々が出席予定です。今年はいりだん新型コロナ禍の他、ふるさと会副会長で歌手の小林辰也氏によるふるさととの民謡や、恒例の福引抽選会、ふるさととの物品販売もごさいいます。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

【当日の詳細】

日時：2024年5月26日(日) 11:00～(受付：10:30～)
場所：アートホテル日暮里ラングウッド 2階「飛翔の間」
住所：東京都荒川区東日暮里 5-50-5
電話：03-3803-1234
参加費：10,000円 (小学生以下は3,000円/人)

会場までのアクセス：

- ・JR 山手線/京浜東北線/常磐線
└ 日暮里駅 南口 徒歩1分
- ・京成線、舎人ライナー
└ 日暮里駅 徒歩3分



私は東日本大震災の時、釜石にいました。「津波でんでんこ」と高台に向かって逃げた釜石小学校の児童生徒のように、命を守る備えがあれば人的被害は最小限に防ぐことが出来ます。然し、突然襲って来た地震と津波を生き延びたとしても、避難場所の劣悪な居住環境と過度な、ストレス等で亡くな

る方が後を絶たないことが誠に残念でなりません。地域防災の観点からは、人口と政治経済の機能が東京に一極集中すること、海岸線に54基の原子力発電炉を並べること、食料とエネルギーの自給を軽視すること等々は、ありえない問題です。コロナ禍後の東京では、皇居を取り囲むように次々と高層の多目的ビルやマンションが竣工して東京湾の浜風を塞ぎ止めている有様ですが、官製相場の市場は、膨張マネーを吸収して不動産バブルも謳歌しているようです。いつの日か東京が関東大震災級の地震に襲われて耐震建築物が倒壊を免れたとしても、道路や電気系統、上下水道は寸断されて機能不全となります。自家発電でエレベータが動いたとしても、貯水タンクや食料、携帯トイレ等の備蓄物は数日での枯渇が危惧される一方、インフラ復旧には、月単位、年単位の間が必要で、何よりも人間は、4時間ごとに排泄しなければならぬので、(次ページに続く)

4年に及んだ新型コロナ禍が終息し、当り前の日常が戻ってきてほっとしたのですが、新年早々の能登半島地震や羽田航空機衝突事故は、波乱万丈で不安な年の幕開けを予感させるものでした。日本列島は、絶えず潜行を続ける複数のプレート上にあり、網の目のような無数の活断層にも囲まれています。地震や津波等の大規模な自然災害は、全国の何時何処で起きても不思議ではなく、明日は我が身と認識して、備えを怠らないことが大事だと思います。

私は東日本大震災の時、釜石にいました。「津波でんでんこ」と高台に向かって逃げた釜石小学校の児童生徒のように、命を守る備えがあれば人的被害は最小限に防ぐことが出来ます。然し、突然襲って来た地震と津波を生き延びたとしても、避難場所の劣悪な居住環境と過度な、ストレス等で亡くな



八幡平ふるさと会 会長 伊藤 彰

日々是好日(ひびこれこうじつ)

4年に及んだ新型コロナ禍が終息し、当り前の日常が戻ってきてほっとしたのですが、新年早々の能登半島地震や羽田航空機衝突事故は、波乱万丈で不安な年の幕開けを予感させるものでした。

コロナ禍後の東京では、皇居を取り囲むように次々と高層の多目的ビルやマンションが竣工して東京湾の浜風を塞ぎ止めている有様ですが、官製相場の市場は、膨張マネーを吸収して不動産バブルも謳歌しているようです。

高層建物群の関係者は、数に比例して難民化し、空に向かって伸びた巨大建物は、汚物にまみれた絶望の塔として聳立ちます。23区木密住宅地域の大火災が加わり、東京が壊滅状態になったとしても、都民や国民が生き延びる知恵と行動の百年の計が必要だと思います。

近年の気候変動も、集中による効率から分散による持続可能への転換を人類に警告しています。

私たちが生まれた岩手県は岩盤上にあるので、東日本大震災の津波被害は甚大でしたが、建物被害は軽微でした。その結果企業立地も増えています。地震に強いという地域特性は岩手県民の何にも代えがたい財産と思います。

温泉と山の景観に恵まれ、地熱エネルギー産業と農業の振興、国際的教育環境の整備等々に取組んでいる私たちの故郷は、万が一の災害時避難先としても安全な移住先としても光輝いています。従って、故郷との関係性を大切にすることは、私たちの我身を守る道にも繋がっていると思います。

今年も5月末日曜日にラングウッド2階会場に皆が集まり、お互いが無事で元気に語り合い、お酒を酌み交わせる当り前が途轍もない幸せであることを改めて噛みしめたいと思う次第です。

アトラクションのご案内



魅惑のベリーダンスショー

シャクティベリーダンス (Shakti Bellydance)

【プロフィール】

シャクティ(Shakti)とは、「能力」「想像力」「潜在的な力」などを意味するサンスクリット語です。お祭りやダンスイベント、法人会でのステージ等に多数出演。メンバー全員がダンサーと運営を担い、全員でひとつのステージを作りあげているチームです。



ふるさとの民謡

八幡平市の思い出が蘇る唄声をどうぞ！

- ・南部牛追唄
- ・南部木挽唄 等

唄：小林竜也 (元テイチクレコード所属 / 八幡平ふるさと会副会長 / 西根町出身)

尺八：福田清治

三味線：北条なおき

太鼓：姫丸

八幡平市ふるさと会によせて

八幡平市 市長
佐々木 孝弘

恒例の八幡平ふるさと会の集いが盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

昨年は初めて私も出席させていただきました。今年も、新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられて間もなくの開催でしたが、170名を超える皆さまが参加され、思えば出話や南米の民族楽器であるフォルクロレ演奏など大盛況の中で楽しませていただきました。

また、八幡平ふるさと会の集いに参加いただいた皆さまから過分なご寄付をいただきましたことに対しまして、紙面をお借りいたしましたして厚くお礼申し上げます。

さて、本市でも感染防止対策を講じながらさまざまな行事等

が再開されているところですが、昨年度に八幡平エリアが観光庁より「高付加価値旅行者の誘客に向けて集中的な支援等を行うモデル観光地」として選定されましたことから、スキー場でインバウンドの増加が見られるなど、経済活動が再開して復調の兆しが見え始めてきており、ここ数年に比べて明るい話題が増えてきているように感じられます。

本年は、大更駅周辺のにぎわい創出の拠点として、屋根付き公園をコンセプトとした遊び場と図書館や移住定住センターなどが入居する複合施設（仮称）大更駅前顔づくり施設」の建設工事に着手いたしました。令和7年秋口の完成を予定しております。新しい商店などの立地もあり、大更駅前は今まさに大きく姿が変わっていくところでございますので、ふるさとに帰省された際には、ぜひ訪れていただきたいと思っております。

昨年に引き続き、世界情勢悪化による電気代や物価高騰などにより、大変な生活を強いられている状況下ではございますが、貴会の皆さまには、ぜひ本市を訪れて雄

大な自然や効能豊かな温泉、四季折々の料理などを満喫していただき、八幡平市を国内外問わず広く発信していただければ幸いです。

結びに、今後も貴会のご協力も賜りながら市政の運営に全力を尽くしてまいります。本市の新名勝「ドラゴンアイ」の開眼もだいぶ国内外の皆さまに浸透してきておりますし、更に、本年は辰年でございますので、「登り龍」の如く、貴会の益々のご発展と、皆さまのご多幸をご祈念申し上げます。あいさつとさせていただきます。



【ドラゴンアイ】

みんな知ってる？
市章のヒミツ

八幡平市の「八」をモチーフに、青空に太陽が光り輝き、下には市を象徴する3つの山（岩手山・八幡平・安比高原）と、裾野に広がる豊かな大地、交流拠点・八幡平市の発展を表現しているんだって！（2005年9月1日制定）



【（仮称）大更駅前顔づくり施設】

前回（令和5年度）の様子



八幡平市長
佐々木 孝弘 様



ふるさと会 会長
伊藤 彰



ふるさと会 実行委員長
伊藤 勝実



八幡平市 市議会議長
工藤 剛 様





ふるさと会の集い 参加実績

令和5年度(2023年)：174名（168名＋来賓6名）

※参加者名簿は別紙をご覧ください

寄付金のお礼

当日、皆様から集まりました市役所への寄付金総額_155,632円
ふるさとへたくさんのお支えありがとうございました！

福引抽選の 協賛企業ご紹介

八幡平市産業振興株式会社/いこいの村岩手/株式会社地熱染研究所/
八幡平リゾート株式会社・八幡平マウンテンホテル/株式会社肉の横沢/
株式会社わしの尾/有限会社丹内菓子店/松っちゃん市場販売組合/勝田屋/
松泉堂菓子舗/麴屋もとみや/株式会社北館製麺/有限会社羽沢製菓/
コーヒーハウス・ロゼ/安比塗企業組合（安比塗漆器工房）/
J A 新いわて八幡平営農経済センター
(計 16 社)

ご紹介タイム & アトラクション



八幡平市 PR

まちづくり推進課長
工藤 輝樹 氏



企業 PR

八幡平スマートファーム代表
兒玉 則浩 氏



アトラクション

フォルクローレ演奏ユニット
「カパックニャン」

ふるさとのレジェンドを応援



写真提供：TEAM ROY

▼プロフィール

名前_小林陵侑 (こばやしりょうゆう)
 生年月日_1996年11月8日
 身長/体重/血液型_174cm / 59kg / A型
 出身地_岩手県八幡平市 (旧松尾村)
 所属：TEAM ROY (チーム ロイ)
 ニックネーム_Roy (ロイ)
 TEAM ROY インスタグラム
 TEAM ROY オフィシャルショップ



▼メッセージ

2023年4月からスキージャンプのプロアスリートとして活動しています。アスリートはこうあるべきだとか、そういった事は考えず、心の感じるままに、面白いって思った事をやって「ぶっ飛んでいく」。もちろん全てに言い訳はできなくなるとは思いますが、自分には自分らしく。これからの僕の新しい挑戦を温かく見守っていただければ嬉しいです。
 (チームロイ公式サイトより)



三上清秀 (旧安代町出身)

私は盛岡市(旧都南村)で生まれ、4歳の時、旧安代町田山へ移住してきました。4歳ですから田山で産まれ育ったのと同じです。

田山では四季折々の思い出が沢山ありました。春は雪解けと同時にひろっこ取りから始まり、こごみ、こしあぶら、ぼんな、ミズ、わらび、ぜんまい、ふき等、色々な山菜を採りました。

夏になれば川でじゃこ取り、7月20日は田山のお祭り、田山役場の広場では、先祓いの踊り、道路沿いは出店も有って賑やかでした。お盆は懸賞付き盆踊り大会、大勢の人が参加してこれも賑やかでした。
 秋はやはり山へ行き、あけび、栗、山ぶどう、天然のきのこ(なめこ、しいたけ、さもだし等)を取りに行きました。紅葉もとても

素晴らしかったです。

冬はもちろんスキー。土曜日は午後から、日曜は朝から矢神山(田山)スキー場でスキーを楽しみました。

私は田山を離れて56年になります。半世紀以上の間、だいぶ景色が変わり、そば畑が増え、りんどう畑も増えていきます。また、田山体育館、クロスカントリー競技場もあり、田山スキー場は立派に整備され、胸を張って自慢できるふるさともなりました。

八幡平市は平成17年9月1日に西根町、松尾村、安代町が合併して今年で19歳。八幡平市の益々の発展を祈念します。

立柳守 (旧松尾村出身)

私が小学校の頃の冬はスキーやそり遊び、雪だるま、かまくら(田舎では当時「ドーム」と言っていたはず)を作ったりしていました。

スキーは俗にいう裏山に友達と一緒に行っていました。当時のスキー板は踵をバックルで止めてい

たので、足の前後をカチッと固定

するようなスキーではありませんでした。また、ワックスも塗ってはいいたものの、滑っているとだんだん滑りにくくなっていました。

小さなジャンプ台を作ったりして8、9メートル程飛んでいたと思います。靴はゴム製のものでした。しかし、夕方近くになると手足ががじかんできました。そして、寒いのでいつも泣きながら家に帰っていました。泣いて帰るのもですから、その泣き声で家族は帰ってきたとわかったようです。

そのことを今でも田舎に帰るとよく言われます。「いつも泣いて帰ってくるのは誰だっけ?」と。

年末年始に田舎に帰ると、当時スキーをしていた山の近くを車で通ります。今はその山に積もる程の雪が降ることはありません。また、雪遊びしている子ども達の声も殆ど聞くことはありません。あの山にスキー遊びに行くと、寒くて泣いて家に帰った人は誰だっけ?と今でもたまにあの頃の自分を思い出します。

ふるさとダイジェスト

八幡平ヒルクライム 2023

雪の回廊として、長年観光道路として市民のみならず、国内外のみなさんに知られております八幡平アスピーテラインで、自転車レース「八幡平ヒルクライム」が令和5年8月27日に行われました。

さくら公園を出発して、山頂パーキング手前の路側帯スペースをゴールに19.1^{キロ}で争われるメインコース、御在所パーキングをゴールに8^{キロ}で争われるビギナーコースに、計357人が参加。遠くは大阪府からも含め、「坂好き」達が健脚を競いました。

このヒルクライムレースは、「ひたむきに自転車で坂を登る」をコンセプトに、登り坂をメインとしたコース設定のレースで、本市でも、八幡平の地形を最大限に生かし、平成30年か

ら開催している人気の自転車レースで、一味違ったアスピーテラインの風景として、定着しつつあります。



あしろマルシェ

安代地区の若手経営者でつくる団体「Ichibizum（イチビズム）」は令和5年10月29日、荒屋新町駅前ですべて初めてとなる「あしろマルシェ」を開き、訪れた約200人がイベントを楽しみました。

JR荒屋新町駅は築96年の歴史ある建物で、100周年の本番に向けた準備として、地元の小学生が真剣な表情で同駅の事務室や待合室の内壁を白いペンキで塗りました。

また、駅舎では東日本旅客鉄道株式会社が主催する花輪線の歴史写真展を開催して、DIY（日曜大工）で改装した駅舎のお披露目式、鉄道関連写真や備品の展示を行いました。

イベントでは、地元食材を使ったバーベキュー、餅まきやラムネ早飲み大会や花火など大いにぎわいました。



令和5年度 八幡平ふるさと会 活動報告

2023年5月28日_「第17回 八幡平ふるさと会の集い」開催
 2023年6月11日_岩手県人会 総会出席
 2023年8月4日_柏台地区夏祭りへの参加(8月11日開催)
 2023年11月14日_「匠の技と味覚を楽しむランチ会」への参加(11月26日開催)
 2023年11月18日_秋田県東京八幡平会参加
 2024年2月4日_岩手県人連合会 新春の懇親会参加
 2024年2月25日_「宮古と八幡平の食を味わい尽くす!」への参加(3月9日開催)
 八幡平ふるさと会役員会開催(6回)

役員の募集

あなたも八幡平ふるさと会の役員を、一緒にやってみませんか？
 年に一度のイベントを一緒に盛り上げてくれる方を募集します。



■役員、アトラクションについての連絡先
 ふるさと会事務局長 米内 幸夫
 TEL：090-6653-3225
 メール：matuonoyukiodesu314@yahoo.co.jp

アトラクションの募集

- ・特技はあるけどなかなか披露する機会が無い
- ・ご自身の取り組みを広めるきっかけが欲しい
- ・知り合いで是非出演して欲しい方がいる(他薦)等

※いただいた応募の中からふるさと会役員で検討し、出演可否については個別にご連絡させていただきます※



※ 重要なお知らせ ※

今後、ふるさと会のご案内ハガキが届きましたら、必要事項をご記入のうえ必ずご返送ください。
 住所変更された場合や、新しく案内送付希望の方がいましたら氏名、住所、中学卒業年度、学校名、電話番号を**名簿管理委員会**又は**事務局**へお知らせください。

〈名簿管理委員〉

名簿管理委員長 安保 勝己(安代地区)
 090-1659-8621
 安代地区 清水 靖子 042-251-1532
 西根地区 福内 秀子 04-7154-3366
 伊藤 マヨ子 03-3897-8559
 松尾地区 高橋 勤治 080-3010-0193

〈編集後記〉見出しの青・緑・白を見てピンと来る方はいましたか？八幡平市の市章をイメージしてみました。
 2025年9月1日で八幡平市は20周年を迎え、市章も変わるようです。どんなデザインになるか楽しみです！
 私は1月に第二子(娘)が生まれ、初めて育休も取得しました。子どもの成長は早いといいますが、親も子どものおかげで成長しているなど感じています。(伊藤淳吉)